

名古屋市教育委員会 様

名古屋市立鳴子幼稚園長

鈴村 優子

令和4年度 学校評価報告書

学校教育の 努力点 (主題)	主体的に遊び込む幼児の育成 ～心を動かして遊ぶ環境を考える～	I・II
-------------------	-----------------------------------	------

1 実践のねらい

幼児期には、身近な環境に関わり心を動かして遊ぶ中で、自分なりに考えたり試行錯誤したりしながら関心を深めてほしい。そこで、幼児が心動かして遊ぶ環境を考えることを通して、主体的に遊び込む幼児を育てたい。

2 実践のねらいに迫るための手立て

- ・ 学年・学期ごとに育てたい姿を明らかにし、学年や時期に応じた環境の構成を考え、実践する。
- ・ 保育記録や研究保育、事例検討などを通して、幼児が遊び込む姿についての話し合いを深め、環境のポイントや工夫を明らかにし、次の保育に生かす。
- ・ ICT機器を保育環境の中にどう生かしていくかについて、研鑽を積む。
- ・ 保育ドキュメンテーションやホームページ、保護者会等で園の取組を発信し、家庭と連携をして幼児の育ちを促す。また、自己評価や学校関係者評価を通して、次の指導へつなげる。

3 実践の内容

- ・ 学期ごとに育ってほしい姿や、そのために必要な環境や援助を話し合っ実践し、振り返ってまとめ、環境のポイントや教師の援助を明らかにした。
- ・ 研究保育では遊びの様子を動画で撮影して一つの場面について話し合うことで、幼児理解を深めた。事例検討会では保育記録や事例から今経験していることや大切にすべきことなどを具体的に話し合っ実践し、各学年や時期に応じた環境のポイントを明らかにした。
- ・ タブレットやプロジェクターなどのICT機器を遊具の一つとして取り入れ、どのように使うと遊びがより豊かになるかを考えて実践し、振り返って次の保育へ生かした。
- ・ 幼児の活動の様子や育ちを保育ドキュメンテーションとして配信し、保護者との会話のきっかけや園での取り組みへの理解につなげた。

4 成果と課題

ICT機器を遊びの中に取り入れたことで、より遊びが面白くなり、友達と情報を共有しやすくなった。また保護者アンケートから、保育ドキュメンテーションの配信により、親子の会話のきっかけや園への理解につながっている様子が伺える。学校関係者評価として、「幼稚園での遊びが、学習の基礎につながっている。遊びの中にたくさんの学びがあることが保育ドキュメンテーションを始め、様々な取り組みからよく分かる。遊びや生活が小学校以降の学習の基礎になっていることをしっかりと発信していくとよい。」という意見も得た。

5 来年度に向けて

園の取り組みやその活動が、どんな育ちにつながっているのかを保護者や地域にわかりやすく伝えられるよう、ICT等を活用して発信力を高めていきたい。